

横浜市立日吉台中学校における初期対応シート

場面	対象	地震発生	安全確保	1次避難	安全確認	2次災害	2次避難	安全確認	情報収集 被害状況把握	保護者へ連絡・ 引き渡し	防災拠点機能 <学校に留まって いられる場合>	
大地震発生・ 大津波警報発表	課 業 中	地震発生	◎緊急放送で安全確保の指示 ◎テレビ・ラジオ等で地震・津波警報等の確認と最新情報を入手	地震がおさまったら ◎校長は、職員室で指揮 ・緊急放送で全校避難を指示 ◎副校長は、すぐに校庭へ	◎人数と安否確認 生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・二次避難の準備・計画 ・負傷者の確認と手当て ・生徒の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携	校舎倒壊・火災発生など	1次避難を省略した場合は、 2次避難場所	◎安全な場所への避難指示 ・被害状況確認と最新情報を入手 ※事前に避難場所と経路を決めておく	◎人数と安否確認 生徒→担任→学年主任→副校長→校長 ・周囲の被害状況の把握 ・二次避難の準備・計画 ・負傷者の確認と手当て ・生徒の不安緩和 ・病院等の医療機関との連携	◎学校教育事務所へ連絡 (第1次報告に変更がある場合) ◎区災害対策本部へ連絡 ※デジタル防災無線、FAXの活用	◎統轄本部で情報収集 ・学校周辺の被害状況 ・公共交通機関等の運行状況 ・通信手段の開通状況 ・保護者への連絡方法の確認	◎区災害対策本部との連携 ◎学校教育事務所との連携 ◎防災拠点運営の協力 近隣防災拠点 日吉南小 状況によっては避難場所として協力
			◎的確な指示 ・「頭部をまもれ」 ・「机の下にもぐれ」 ・「机の脚をもて」 ・「安心するような声かけ」	◎校庭へ避難誘導 ・名簿、引き渡しカード等の携帯 ・配慮を要する子どもへの対応 ・トイレ、特別教室等に生徒が残っていないか確認	災害対策本部設 救出・救急医療班活動開始 消火・安全点検班活動開始		◎予め定めた場所へ避難誘導 ◎的確な情報を与え、落ち着くように指示	◎役割分担に従って行動 ・学校、地域の被害状況把握(安全な場合は通学路等も...) ・ライフライン、公共交通機関の状況 ・負傷者への対応 ・危険箇所の確認と立入禁止の表示 ・不安を訴えている子どもへの対応(養護教諭中心に)	◎引き渡しの手順 ・電話による連絡 ・メール配信 連絡とれず、または危険で保護 留め置き	地域防災拠点マニュアルに沿って協力開始 ・待避場所確保 ・食料の確保 ・保護者へ連絡		
			◎揺れがおさまるのを待つ ・机の下にもぐり、落下物から身を守る	◎落ち着いて移動 ・防災頭巾等で頭部を保護し、上履きのまま移動 ◎「おかしも」の約束 おさない かけない しゃべらない もどらない	◎施設被害状況の把握 ◎危険箇所の立入禁止措置		◎落ち着いて移動 ・防災頭巾等で頭部を保護し、上履きのまま移動 ・教員の指示に従い急いで集合場所へ移動	◎避難場所で静かに待つ ◎指示に従って、帰宅準備を行う	◎下校 ・保護者への引き渡し ・留め置き	・待避場所確保 ・食料の確保 ・保護者へ連絡		
			備考	グラウンドの南側半分、液状化の危険性が高い。	安全点検班はトランシーパーを持参し、本部と連携をとる。			箕輪町3丁目の状況に注意 ・がけくずれ ・液状化				